

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和7年4月17日（木）

2 確認箇所

2号機原子炉建屋（図1）

※作業状況を遠隔操作室において確認

3 確認項目

2号機燃料デブリ試験的取り出し作業の状況

4 確認結果の概要

2号機において2回目となるテレスコピック式試験的取り出し装置（以下「テレスコ装置」という。）による燃料デブリ※¹試験的取り出し作業は、4月15日にテレスコ装置先端部が原子炉格納容器隔離弁を通過し、作業着手となった。

本日は、燃料デブリの把持作業が実施されることから、その状況を確認した。（前回確認：[令和7年4月15日](#)）

【確認結果概要】

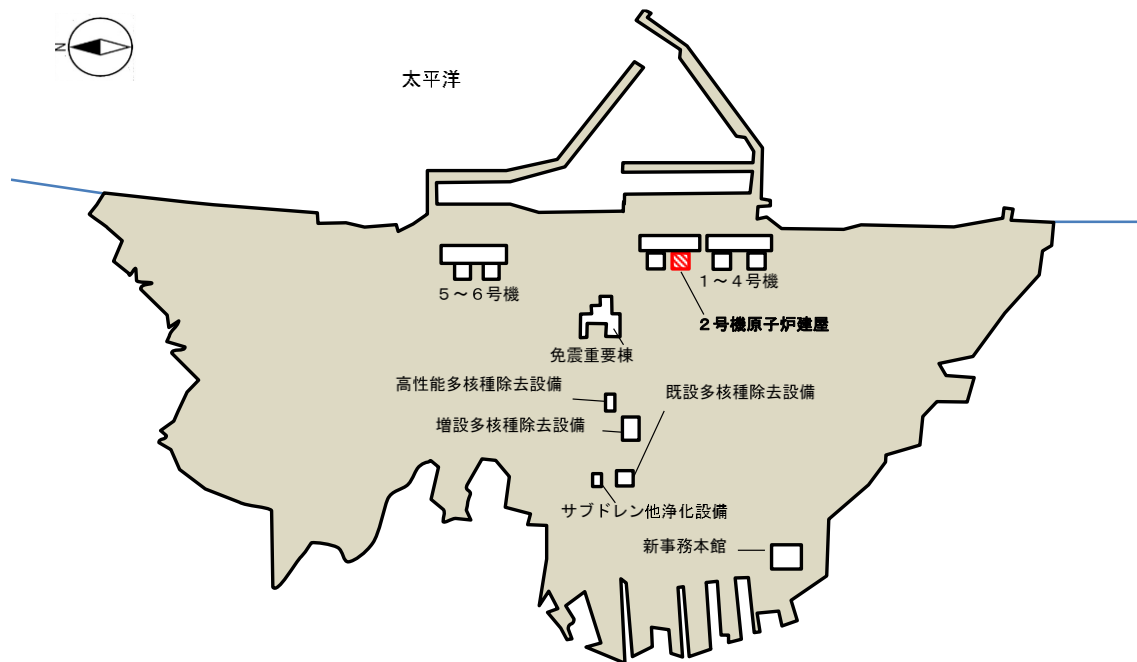
- ・押し込みパイプを90度反時計回りに回転した後、テレスコ式アームを傾けた状態で伸長し、先端治具をペDESTAL※²内に挿入した。
- ・その後、前回の採取時より中心部に近い開口部から先端治具の吊り降ろしを行った。ペDESTAL底部に堆積している燃料デブリを先端治具で把持した後、テレスコ式アームを作業開始前の状態まで戻して本日の作業は終了となった。
- ・作業は細かいステップに分けられており、作業毎に遠隔操作室と現場で内容の確認を行いながら、作業は進められていた。
- ・作業開始から約1時間が経過した際、遠隔操作室から現場作業員の体調確認や作業の現場判断優先等の声掛けが行われ、より安全に作業を進められるよう配慮がなされていた。

※1 燃料デブリ

過熱した燃料が燃料被覆管や炉内構造物等とともに熔融し、その熔融物が冷えて固まったもの。

※2 ペDESTAL

原子炉圧力容器と遮へい壁を支える円筒状の鉄筋コンクリート製の架台。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図

5 プラント関連パラメータ確認

各パラメータに異常値は確認されなかった。